

報道機関各位

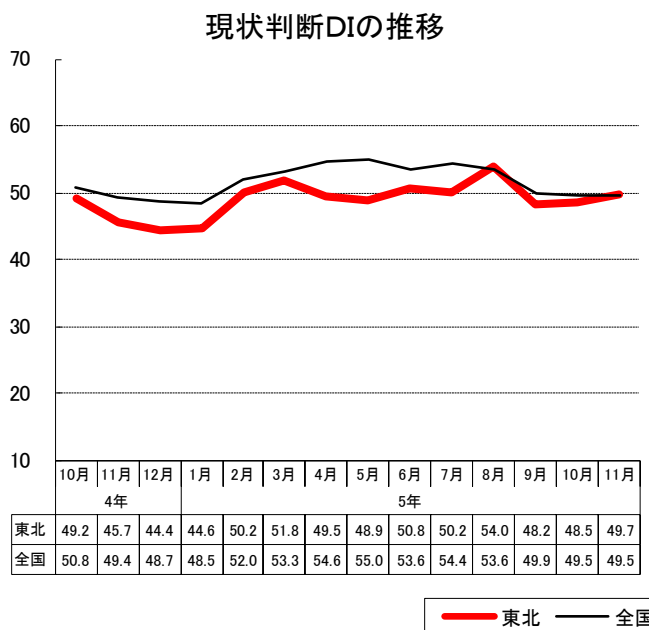
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年11月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年11月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

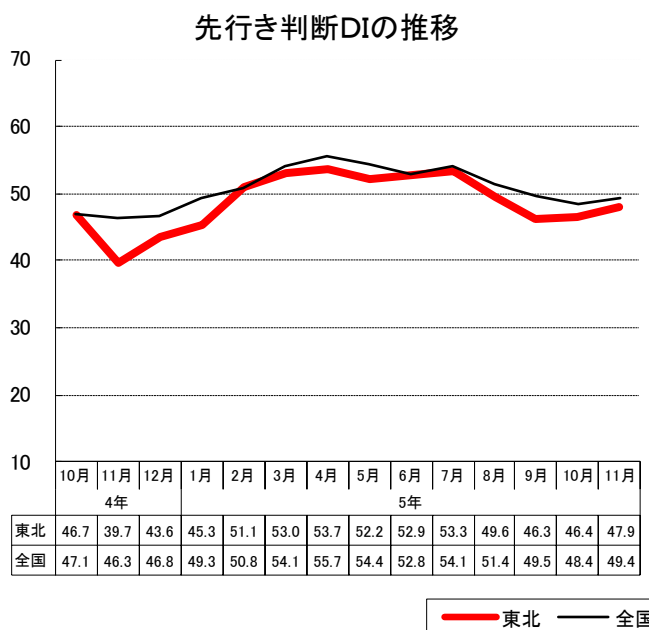
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「49.7」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.2ポイント上昇した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

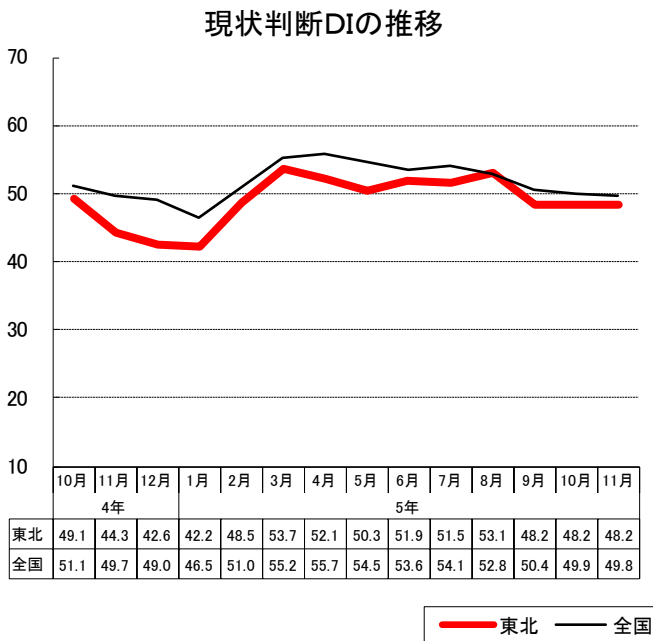
先行き判断DIは「47.9」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.5ポイント上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「48.2」と2か月連続で横ばいとなった。



○家計動向関連…観光型ホテル・旅館、スーパー、百貨店等の業種でDIが前月を下回ったが、一般レストラン、衣料品専門店、都市型ホテル等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「49.3」(+1.2)と、3か月ぶりに前月を上回った。

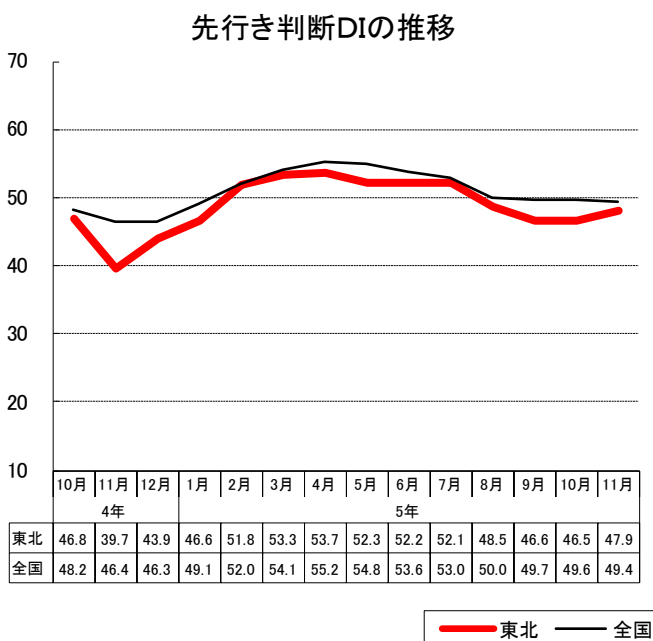
○企業動向関連…輸送用機械器具製造業、広告代理店・広告業協会の業種でDIが前月を上回ったが、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、金融業、一般機械器具製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「45.1」(▲3.5)と、3か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「47.4」(▲1.3)と、2か月ぶりで前月を下回った。

(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「47.9」と7か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+1.4ポイント上昇した。



○家計動向関連…一般小売店、一般レストラン、家電量販店等の業種でDIが前月を下回ったが、通信会社、百貨店、スーパー等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「47.4」(+0.8)と、5か月ぶりに前月を上回った。

○企業動向関連…金融業、食料品製造業、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を上回ったが、輸送用機械器具製造業、金属製品製造業、一般機械器具製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「46.5」(▲2.1)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「53.9」(+11.8)と、2か月ぶりに前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	4年			5年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東北現状	49.1	44.3	42.6	42.2	48.5	53.7	52.1	50.3	51.9	51.5	53.1	48.2	48.2	48.2
家計動向関連	47.6	42.7	42.5	39.9	47.5	53.3	51.8	48.4	50.7	52.5	54.3	48.7	48.1	49.3
企業動向関連	49.3	45.9	41.2	47.3	50.0	55.6	51.4	50.0	52.7	48.6	54.7	50.7	48.6	45.1
雇用関連(参考)	57.9	51.3	46.1	46.1	51.3	52.6	55.3	61.8	57.9	51.3	42.1	40.8	48.7	47.4

（2）先行き判断D I

	4年			5年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東北先行き	46.8	39.7	43.9	46.6	51.8	53.3	53.7	52.3	52.2	52.1	48.5	46.6	46.5	47.9
家計動向関連	45.7	37.9	41.8	45.2	51.3	51.8	52.9	50.9	51.5	50.9	49.1	46.9	46.6	47.4
企業動向関連	48.6	43.9	48.0	52.0	48.6	56.9	54.2	52.7	52.7	56.1	48.0	45.3	48.6	46.5
雇用関連(参考)	50.0	42.1	48.7	44.7	60.5	55.3	57.9	59.2	55.3	51.3	46.1	47.4	42.1	53.9

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和5年11月25日～30日

回答者数 169/189 名、回答率 89.4%（全国 1,820/2,050 名、88.8%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（衣料品専門店）…寒さが増してきた影響か、ようやく買上客数が前年並みに戻っている。

（一般レストラン）…11月は3人から5人の少人数の集まりがかなり多い。また、新型コロナウイルス感染症発生前のような大人数ではないものの、宴会もかなり多くなっている。

（都市型ホテル）…宴席の人数が増えている。収容人数にほぼ近い人数が会場に入るなどの動きがある。立食需要も増えている。

（通信会社）…雪が降る前に新築住宅を完成させるため、この時期は新築住宅での放送サービスの申込みが増加傾向にある。また、通信サービスも集合住宅の一括導入を中心に加入数を伸ばしている。

（観光名所）…国内旅行者の回復は微々たるものだが、インバウンドの回復が目覚ましい。来客数が大変多く、景気は良くなっている。

（設計事務所）…建設工事の景気が良い状態が続いており工事価格が高騰しているため、客からは景気が後退してから建設をしたいという話が数件出ている。

（輸送用機械器具製造業）…以前より引き合いがあった設備の売上増加に加え、急ぎ案件の受注もあり、当月は動きが活発になっている。

（人材派遣会社）…11月は研修の実施や問合せが非常に多くなっている。景気が悪いと真っ先に削減される教育研修費に金を掛けているということは、ビジネスが順調とみている。サービス業、飲食業、総合卸売業、農機具のメーカー・販売企業などからの問合せが増えている。

（職業安定所）…10月の新規求人数は前年同月比で28.9%増加しており、3か月前比でも30.6%増加している。飲食業では客足の戻りが本格化し、広範囲に展開する飲食店や小規模店舗の募集が目立っている。介護福祉の現場からは、団塊世代が75歳以上となる「2025年問題」に対応するため募集するという話を聞く。また、派遣業に伸びがみられる。派遣先の多くは製造業であり、直接雇用を控えて派遣労働者を受け入れながら様子をみていることがうかがえる。

○「変わらない」

（百貨店）…ここに来て気温も下がり、季節商材のマフラーなど防寒雑貨が好調である。食料品については価格上昇に対して消費者は厳しい目でみている。特に年末年始のおせちなどは購入を迷っている客も多く、買い控えがみられる。

（スーパー）…平均1品単価は前年比107%となっている。価格転嫁が続いているため高い水準で推移している。来客数はやや前年を割っており、買上点数も前年比でみると良くない。低価格品の買上点数は上がっているが、売上は前年と変わらず、全体的にほぼ変わっていない。

（その他専門店[ガソリンスタンド]）…燃料油の販売数量は増加傾向にあるが、販売価格の高止まりが続いているため、洗車やタイヤといった他の商材の販売につながっていない。

（その他小売[ショッピングセンター]）…今月の買上客数は2018年比95%であり、3か月前の同93%とほぼ変わらない状況である。主にファッション雑貨の店舗では同80%台で不振が続いている。通常であれば気候が変われば消費は伸びるが、客は吟味して購入する傾向が強くなっている。

（旅行代理店）…東北の宿泊販売は下期のボリュームが小さいことから下降傾向であるものの、2019年の販売量は上回って推移している。

（美容室）…再来店率は前年比96%から97%で推移している。

(その他住宅[リフォーム])…住宅設備機器は、気温の低下に伴い暖房設備の温水ルームヒーター交換、石油暖房器具の買換えが増えている。リフォームは、助成制度活用期間が終了したことで工事が急減している。

(出版・印刷・同関連産業)…選挙関連の仕事等は増えているが、広告収入は厳しい状況である。

(一般機械器具製造業)…商談件数は徐々に増えているが、なかなか決定には至らず、受注量は3か月前と変わっていない。

(広告業協会)…広告業界の業績は3か月前と変わらず、前年比ややマイナスで推移している。イベント関連、娯楽施設の広告出稿は好調だが、各種値上げやエネルギー価格の高騰が販売促進費を押し下げる要因となっている。

(新聞社[求人広告])…求人広告に限らず、ほとんどの広告需要に変化がなく、マスコミ業界全体が停滞している。従来であれば経済が活発化すればそれなりに広告需要が増えるが、現時点では波及していない。

○「やや悪くなっている」

(百貨店)…婦人ファッション関連商品や化粧品などは堅調に動いているものの、食品や日用品を中心に買上単価、買上点数が減少している。食品や光熱費等、物価高騰の影響により生活防衛意識が高まっているとみている。

(コンビニ)…気温の低下に伴い買上点数が減少している。前年比でも減少しており、家計の引締めが始まっていることが強くうかがえる。

(家電量販店)…燃料費高騰の影響で省エネ家電への買換えが進み、商品単価は上昇傾向にあるが、来客数は全体的に減少傾向にある。暖房商品が必要な時期に入っても来客数が増えず、販売量も増えていない。景気はやや悪くなっている。

(観光型ホテル)…物価高の影響で客の財布のひもが固くなっている。また、人手不足の影響で客室の稼働制限を掛けているため、来客数は減っている。

(競艇場)…来場者は常連客が大半を占めており、客単価は下がっている。

(金属製品製造業)…顧客によって景気に差はあるが、受注量が伸びない。

(金融業)…地場の一般消費動向は夏祭り以降の勢いはないものの堅調である。ホタテやナマコの中国向け輸出の停止、サバの記録的不良等水産関連が1次・2次・3次産業共に影響を受けている。企業の設備投資も資材や原料の価格高騰の推移を注視しており、まだ様子見の状況である。

(経営コンサルタント)…原価高の状況が変わらないなか、大手小売業では食品価格の値下げが始まっており、中小小売業が対抗できず、格差が広がりつつある。しかし、大手でも値下げ分をカバーできるほど来客数が増えるわけではなく、手探りの状況が続いている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(百貨店)…物価高騰に落ち着きがみられることに加え、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後初めての年末年始で帰省客の増加も予測されるため、食品や土産品を中心に前年よりも売上が増加することが見込まれる。

(乗用車販売店)…個人客の販売量が少しずつ戻っているため、今後の景気はやや良くなるとみている。

(設計事務所)…現在計画している仕事が動き始めるため、景気はやや良くなるとみている。

(金融業) …年末年始で個人消費に勢いを取り戻すことが可能である。また、国内外の観光需要が引き続き経済全体の緩やかな回復基調を押し上げる。現時点では、資金調達時の金利上昇の懸念が企業の設備投資意欲に与える影響は僅かであるとみている。

(人材派遣会社) …年度替わりに向けて、求職者数に動きが出るとみている。

(新聞社[求人広告]) …県内への半導体工場の誘致が決まり、実際に動きが出始めており、期待感も増している。インバウンドについても台湾への期待が膨らんでいる。求人活動はもとより、様々な準備が始まっている。

○「変わらない」

(一般小売店[医薬品]) …正月を迎える準備には金を使うが、正月が終わると再び節約志向になるため、今と変わらない状況になるとみている。

(スーパー) …物価上昇による売上増加の傾向はしばらく続くとみているが、買上点数や来店頻度の減少が続くことを懸念している。

(衣料品専門店) …円安で輸入品の値上がりが続いている。また、寒くなると光熱費の負担が増える。賃金の上昇は地方には波及しておらず、景気が良くなる見通しが立たない。

(家電量販店) …2か月後は初売りがあるため、若干の売上増加は期待できるが、その後は特に変わらないとみている。

(高級レストラン) …現在の来客数、宿泊客数共に多い状況は、この先2～3か月は変わらないとみている。

(通信会社) …年末年始需要により消費動向は伸びるが実質賃金が下がっているため、景況感は悪いまま変わらないとみている。暖冬の予報も出ているが、その影響も予測できない。

(一般機械器具製造業) …同業種においては仕事量が少なく休みを増やしている会社もある。今後の見通しが立たない。

(広告業協会) …インバウンドに関連する業界の活況は続くとみられるが、広告業界は余り恩恵を受けられないのが現状である。企業は人件費、原材料費、燃料費の高騰が利益を圧迫しているため、広告費を削減せざるを得ない状況が続くとみている。

○「やや悪くなる」

(一般レストラン) …商品の値上がりが多くなっていることや給料がなかなか上がらないことなどで、2～3か月後は再びマイナスに転じるとみている。今のところ結婚式など団体の予約も余りない。

(食料品製造業) …前年よりも人の動きが良くなっており、土産需要は回復傾向にあるが、原料や資材価格、人件費の上昇で経営的には厳しい状況が続くとみている。

(金属製品製造業) …3月の年度末に向けて、大きく在庫調整が入る可能性がある。

(輸送用機械器具製造業) …引き合い件数、見積件数の伸び悩みがあり、先々の動向は良い状況とはいえない。

(職業安定所) …人手不足は続いているものの、新規求人数の増加の勢いが鈍化している。

○「悪くなる」

(農林水産業) …収穫物がなくなる時期になるため、販売するものがなくなる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上